

平成 29 年度 事業 報告

事業名	徳次郎デイサービスセンター					
目 標	4月1日	<p>1・H30年4月からの総合事業完全移行にむけ、H29年4月より段階的に柔軟に対応できるよう情報収集し変更があれば適宜実施していく。現在のご利用者においては予防給付相当サービス(現行同様)での対応とする。</p> <p>2・エルダー・メンター制度(同様にキャリア段位制度によるOJT・OffJT指導や内部・外部評価を実施し職員の質の向上)を導入する事で、職員間の繋がりを密にし、環境の安定を図る。</p> <p>3・今後も中重度者の受け入れの必要性が高まる為、各職員が専門性(介護福祉士・認知症関連)の向上を図る。新任・現任研修も含めた内部・外部研修に積極的に参加(自己研鑽含む)</p> <p>4・利用に関するアンケートを実施しサービスの質の向上を目指す(職員の意識の向上も含む)また、情報のみでなくアセスメントの重要性を職員が理解し、より個別的な対応(計画・評価)ができるよう支援する。</p> <p>5・総合事業に伴い「にこにこ庵」をこれまで以上に活用できるよう、地域サロンの活動(包括支援センター連絡調整)ご利用者の交流の場(徳次郎カフェ・バザー等)・畑を有効活用(いやし園芸)等、特色を生かした地域交流を図る。(今後の基準緩和型への対応も視野に入れておく)</p>				
	7月1日	施設長		責任者		担当者
評 価	<p>みなし事業所としての対応であったが、事前の書面同意もあり、予防の方々は不安等なくこれまで通りのサービスに対応できていた。職員の質の向上や人的環境の安定を図る為、怒りのコントロール・ストレスマネジメントを目的とした「アンガーマネジメント」研修や「チームケアの重要性」研修を実施し意識を高めた。今年度より、誕生者はグループで外出に出かける事で喜びを分かち合える目的とした。また、前回のアンケートで希望が多かった買い物ツアーを実施し外出の楽しみの向上に繋がった。手芸クラブ活動も再開しボランティア様2名で対応して下さる事になり、ご利用者からも作品作りの喜びやリハビリに繋がる等の声が頂けた。</p> <p>※5月22日合同入職式(1名) ※6月安全運転講習会(1名)</p>					
	10月1日	施設長		責任者		担当者
評 価	<p>介護予防認定から更新時には、総合事業みなし(相当サービス)へ移行できており、請求においても問題なく実施できた。地域密着・医療連携を図る為、8月に認知症ネットワーク研修へ参加。医師の方をはじめ、各職種がグループになり専門的な意見を出し合い皆が共有する事で、新たな発見や学ぶこと連携しやすい環境が生まれ、大変良い研修であった。今後も職員が定期的に参加できるようにしていく。行事では季節を感じられる「流しそめん」や「とくじら祭り」と題して、毎年職員が考えた寸劇・イベントを披露し(浦島太郎・日光和楽踊り)ご利用者も参加する事で盛大に実施できた。次回も楽しんで頂ける企画を用意する。</p> <p>※8月外灯の修理(サンロード)</p>					
	12月28日	施設長		責任者		担当者
評 価	<p>来年度からの認知症加算算定に向けて、10月5日～23日の期間に認知症介護リーダー研修受講(生活相談員1名)専門知識の向上の他、性格診断をする事で自分自身を理解し、チームとして認知症の方に接する事ができるよう内部研修実施。利用者アンケートを実施した結果、全体的に満足して頂いているとの内容であったが、質問の内容が細かく回答が困難な様子が見受けられた為、次回はもう少し簡易的にする必要があると感じた。例年通11月にインフルエンザ予防接種実施した。今回初めて、12月に徳次郎上町での徘徊模擬訓練に参加させて頂き、地域での見守りの必要性を再確認できた。※11月キャリア段位制度アセッサ講習受講(1名) ※「施設修繕」晋豊建設(10月 ホール床・浴室建具) 大田原興業(11月 屋根防水 12月 屋根塗装)</p>					
	3月31日	施設長		責任者		担当者
評 価	<p>富屋小学校4年生による「福祉質問タイム」との事で、施設に来所され、ご利用者や職員へ質問したり交流を図られた。また、「介護・福祉についての説明会」の為、6年生に対してパワーポイントを使用し説明を行なう事で児童の福祉の意欲も向上した様子で大変嬉しく感じた。また、今後小・中・高へ「出前講座」に出かけ福祉・介護に対しての魅力等を伝えていく(21世紀委員会)2月27日に来年度の通所型サービス(みなし)更新申請行う。3月26日・27日集団指導(障害・介護保険)に参加。新加算への対応通所型サービス(相当)へのスムーズな移行をする為、人員体制・書類等準備をしっかりと対応していく。</p> <p>※沼尾設備(2月 室内洗面所配管・蛇口修理)</p>					

平成29年度 事業報告書

事業名	富屋・篠井地域包括支援センター					
	会 議	介護予防教室 短期集中型サービス	地域支援活動 自主グループ	地域活動 サロン支援	講座・相談会 交流会	その他
29年 4月		◆はつらつ教室・富屋 第2・4金曜日	ほほえみクラブ あやの会 なのはなクラブ 八重のさくら会 いきいきクラブ	いずみ会 ほほえみ 歩みの会 さくら会 (毎月支援)	シルバー 交流会 出張相談会 やすらぎ荘	済生会 看護実習
5月	・医療介護西プロ ック連携会議	◆はつらつ教室・富屋 第2・4金曜日	同 上	ふれあい会食	出張相談会 ろまんちっく 村	済生会 看護実習
6月	・地域ケア会議 【篠井地区】 【富屋地区】	◆はつらつ教室 第2・4金曜日 ◇短期集中型サービ ス 週1回木曜日	同 上	ふれあい会食		済生会 看護実習
7月	見守り活動会議 【篠井地区】 ・医療介護西プロ ック連携会議	◆はつらつ教室・富屋 第2・4金曜日 ◇短期集中型サービ ス 週1回木曜日	同 上	ふれあい会食	出張相談会 やすらぎ荘 家族介護 教室 【篠井地区】 【富屋地区】	
8月	見守り活動会議 【篠井地区】 徘徊模擬訓練 会議	◆はつらつ教室・富屋 第2・4金曜日 ◇短期集中型サービ ス 週1回木曜日	同 上			
9月	見守り活動会議 【篠井地区】 ・医療介護西プロ ック連携会議	◆はつらつ教室・富屋 第2・4金曜日	同 上	ふれあい会食		宇短大社 会福祉士 実習
	会議	介護予防教室 短期集中型サービス	地域支援活動 自主グループ	地域活動 サロン支援	講座・相談会 交流会	その他
10月		◆はつらつ教室・篠井 第2・4金曜日	同 上 自主グループに 輪投げ会(新規)	やすらぎ荘 まつり		済生会 看護実習 宇短大社 会福祉士 実習

11月	地域ケア会議 【篠井地区】 【富屋地区】 徘徊模擬訓練 会議（2回）	◆はつらつ教室・篠井 第2・4金曜日	同上	とみやふるさと まつり 篠井の秋まつり ふれあい会食		済生会 看護実習
12月	徘徊模擬訓練 会議（2回）	◆はつらつ教室・篠井 第2・4金曜日	同上	ふれあい会食	徘徊模擬 訓練実施 （中町・上町）	
30年 1月	医療介護西ブロッ ク連携会議	◆はつらつ教室・篠井 第2・4金曜日	同上	ふれあい会食	出張相談会 やすらぎ荘	
2月		◆はつらつ教室・篠井 第2・4金曜日	同上	ふれあい会食	視察研修 （富屋社協）	
3月	・富屋・篠井合同 地域ケア会議 ・医療介護西ブロッ ク連携会議	◆はつらつ教室・篠井 第2・4金曜日	同上	ふれあい会食		

<包括支援センター業務内容>

- ※ 総合相談支援を受け付けます、そして相談内容に応じた関係機関につなげます
- ※ 包括的・継続的ケアマネジメント関係機関との連携・介護支援専門員からの相談に応じて対応
- ※ 介護保険指定介護予防事業（介護サービス利用につなげる要支援者のケアプラン作成）
- ※ 相権利擁護業務（成年後見制度・高齢者虐待・消費者被害等）
- ※ 介護予防ケアマネジメント
- ※ 認知症サポーター養成講座等要請への対応
- ※ 介護予防教室、げんき応援教室への参加勧奨 ⇒ 随時開催
- ※ 地域ケア会議で地域の課題抽出に努める
- ※ 地域声かけ運動（徘徊模擬訓練実施）

平成29年度から介護予防・日常生活支援総合事業が始まり65歳以上の方に対して介護予防の取り組みが①要介護・要支援認定を受けなくても基本チェックリストを実施でサービスが利用できるようになりました。

②一般介護予防事業（はつらつ教室）を利用したい方には基本チェックリストなしで利用が出来ます。

平成29年度 事業報告書

事業名	徳次郎居宅介護支援センター						
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化したニーズにスムーズに対応出来る様ケアマネジメントの充実を図る ・多職種との連携、協働を図り、関係者との連携強化を図る ・外部研修、内部研修、会議に積極的に参加し、専門職としての資質の向上を図る ・チームとして働きやすい環境作りに努める ・総合事業等制度改正について熟知し支援に努める 						
評価	6月30日	施設長		責任者		担当者	
評価	<p>宇居連の定期総会に出席、講演会として、市に新設された宇都宮地域包括ケア推進室の山口氏（H29, 4より厚労省から宇都宮市に転職）の説明を受け、新総合事業と生活支援体制整備事業について学ぶ事が出来た。</p>						
評価	9月30日	施設長		責任者		担当者	
評価	<p>神経難病の利用者が急速な進行で自宅での対応が困難になり、入院したケースで、胃瘻造設等で自宅での生活が可能になった際に、病院、医師、看護師、福祉用具専門員と連携を図り、ケースカンファレンスを開催、自宅での生活がスムーズに開始できるよう支援できた。</p>						
評価	12月25日	施設長		責任者		担当者	
評価	<p>富屋・篠井包括支援センター主催の第1回徘徊模擬訓練に出席し、地元の警察・自治会・民生委員・婦人会・他事業所等の方と協力し、訓練を通じて共に学ぶ事ができた、居宅としては今後地域との連携を図る上で大きな1歩となった。</p>						
評価	3月30日	施設長		責任者		担当者	
評価	<p>職員全員が県・市・宇居連等開催のケアマネジメントに関わる研修にそれぞれ参加できた、また、毎月の内部研修に参加し、資質の向上を図るべく、ケアマネジメント力向上に努めることが出来た。 毎週開催の定例会議で制度・資源等情報を共有し、チーム力を高め、働きやすい環境作りに努めることができた。</p>						

平成29年度 事業報告書

事業名	徳次郎ホームヘルプサービス				
目標	<p>①身体介護についての理解と介助方法を昨年よりも高めていき緊急時にも全ヘルパーが確実に介助できる様、内部、外部研修などに参加し技術を習得していく。</p> <p>②ご利用者様との関係を改めて見つめなおし、その人にあった介助を支援していく。</p> <p>③総合事業にあたり利用者様の理解と自立支援に向けて支援を行なっていく。</p>				
評価	6月30日	施設長		責任者	
	<p>4月、各ヘルパーが一年間の目標を決める。言葉使い、言葉の意味、態度などを改めて自分自身と照らし合わせ自己チェックし利用者様との関係を見つめなおした。5月、身体介護研修（清拭）を実施し、研修の中のやり方と今の利用者様に合わせた清拭の仕方を考えて行き実践に取り込み支援を実施していった。6月、身体介護研修（更衣介助）各ヘルパー同士で実際に介助をしてもらい、介助される側の気持ちや、痛み、怖さなどを知る事で介助する際に気をつけなければいけない事や技術を学んだ。</p>				
評価	9月30日	施設長		責任者	
	<p>7月、熱中症の研修、熱中症の特徴を知り、緊急時の方法を学ぶ。8月、訪問介護の基礎研修、基礎を学ぶ事により利用者様に提供出来るサービスを各ヘルパーが知り利用者にあった支援が提供出来るようにした。9月、全利用者様の状態報告、支援内容の再確認をする事で利用者様を改めて知る事ができた。</p>				
評価	12月31日	施設長		責任者	
	<p>10月、記録の研修 記録の重要性を知り、実際に記録票を書きみんなで見直し記録の仕方を学ぶ。11月、感染症の研修、インフルエンザ、ノロウイルスの症状、感染ルートを知り、随時正しい対処法が出来る様にした。総合事業の制度に対して、各ヘルパーに理解をしてもらい利用者様に対応できるようにしていった。</p>				
評価	3月31日	施設長		責任者	
	<p>1月、認知症の研修（物盗られ妄想）、事例検討を元にどんな声かけ、対応をするのかを学ぶ。2月、ヘルパー同士の情報交換、支援内容確認、同じ利用者の支援内容が違ってないかの確認、掃除の仕方やコミュニケーションの声かけ方などの意見を交換。情報交換をする事により、支援の質をあげる事に繋がった。3月、29年度の目標に対しての反省と達成度を確認し、来年度に、各ヘルパーのレベルアップに繋げていった。</p>				

平成29年度事業報告

今泉保育園

項目	報告
保育内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度行事計画を計画通り実施することが出来た。 ・ 第三者評価実施に向け、保育内容の基本に立ち戻り全体を総括する機会としてとらえることが出来た。
職員養成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、保育の質の向上は追求しつつ働きやすい職場作りを模索した。 ・ 研修費用を従来に比べて増額したが多くの申請に結びつかなかったが、職員のやる気を高める初めの一步となった。
環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの森の植栽について、全職員の関心に繋げるため保育士も担当に加わり活動したが、大きな活動に結びつかなかった。人選も含め、次年度の課題とした。 ・ 祖父母力を活用させていただき、園活動の内容を更に充実させていった。
財政	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中長期財政計画を策定し、さらに計画的な財政運営を行い、積立金を増額することが出来た。 ・ キャリアアップ助成を受ける。(570,000円)
職員待遇	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士不足のため、働きやすさ、賃金改善を含めさらに定着率向上を画策し、退職者なしであった。希望者のうち2名を常勤昇格させることが出来た。 ・ 保育士の事務処理軽減の方策を引き続き探求していった。
保護者会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年も自主的な活動参加を中心にして、保護者間の交流を深めた。行事等の手伝いも自主参加者が多く、園開設14年の積み重ねを感じる事が出来た。
地域交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 錦地区老人会、今泉地区老人会との関わりを更に充実させて、運動会や作品展の参加者が多くなり、園活動の理解向上の一助になっている。

平成29年度 事業報告

徳次郎保育園

	事業計画	実績報告																		
処遇等方針	・保育内容の充実	・なかよし畑にて品種が異なるじゃが芋を育てる。じゃが芋によって固さ、色、味の特徴それぞれにある事を発見。調理活動へつながる。 ・重度を含む3名の支援児が在籍し、研修やケース会議を通じ個々に応じて保育する事が出来た。																		
	『原体験』を大切に保育をするための環境整備を引き続き行う。(園庭・森・畑等) ・保育士・園児共に『気付き』を大切にする ・発達支援児保育の充実(研修・保育計画)																			
	・年間行事計画の実施	・処遇改善Ⅰ・Ⅱ共に予定通り年度末に支給。 ・非常勤74%に対し常勤は35%の消化率。常勤の消化率を上げる工夫を考えたい。																		
	・処遇改善費として加算される給付金を年度末に支給する。・有給休暇の消化																			
	・4月に常勤職員の本俸2%～3%アップ																			
2. 職員体制 職制配置体制	<table border="0"> <tr><td>園長</td><td>1名</td></tr> <tr><td>主任保育士</td><td>1名</td></tr> <tr><td>リーダー保育士</td><td>2名(乳児幼児各1名)</td></tr> <tr><td>常勤保育士</td><td>13名</td></tr> <tr><td>非常勤保育士</td><td>5名</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>2名</td></tr> <tr><td>パート調理員</td><td>2名</td></tr> <tr><td>用務員</td><td>1名</td></tr> <tr><td>職員合計</td><td>27名</td></tr> </table>	園長	1名	主任保育士	1名	リーダー保育士	2名(乳児幼児各1名)	常勤保育士	13名	非常勤保育士	5名	栄養士	2名	パート調理員	2名	用務員	1名	職員合計	27名	<ul style="list-style-type: none"> ・5月29日より1名産前産後休業に入り、年度内は育児休業を取得。 ・12月30日より1名産前産後休業に入る。
園長	1名																			
主任保育士	1名																			
リーダー保育士	2名(乳児幼児各1名)																			
常勤保育士	13名																			
非常勤保育士	5名																			
栄養士	2名																			
パート調理員	2名																			
用務員	1名																			
職員合計	27名																			
3. 勤務体制等	<p>認定発達支援児 4歳児、5歳児に各1名在籍。中・軽度のため専任保育士を1人配置。0歳児の入園児を増やす。(4月現在1名)早番、遅番の園児数の増加に伴い朝夕の保育士不足に伴い、試験的に勤務体制の変更を実施。これまでの変則勤務から早番遅番共に8時間勤務で土曜出勤分は代休体制とする。</p>	<p>・早番、遅番の人手不足を解消するために試みた8時間勤務・代休制も定着し、職員間の伝達もスムーズになった。変則勤務を失くす事で、日中のケース会議、乳幼児会議の実施が可能となり、会議のための超過勤務が減った。</p>																		
4. 利用者定員 対象者	<table border="0"> <tr><td>利用定員</td><td>80名</td></tr> <tr><td>認可定員</td><td>105名</td></tr> </table> <p>保育士の人数も十分なため、可能な限り入所希望者の対応をしていく。</p>	利用定員	80名	認可定員	105名	<p>最終在籍人数は103名。 中でも1歳児の受け入れ希望が多く、他の年齢のわくを減らして1歳児の受け入れに協力した。</p>														
利用定員	80名																			
認可定員	105名																			
5. 利用時間 利用日	<p>開所時間 午前7:00～午後7:00 月曜日～土曜日(日曜、祭日は休み)</p>	<p>計画通りに実施</p>																		
6. 利用料	<p>延長保育に於いては18:00～19:00 ・・・・月額3,000円 ただし、19:00を過ぎた場合は別途請求。 19:00～19:00は1回につき1000円 その後5分ごとに500円</p>	<p>計画通りに実施</p>																		

7. 給食	<ul style="list-style-type: none"> ・なかよし畑の食材、放射能物質検査 ・園児に人気のあるメニューレシピの提供 ・行事食においては工夫を凝らしバイキング等普段と雰囲気異なる演出をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・放射能検査異常なし ・タブの木のデッキが子ども達のお気に入りです空弁当箱に給食を詰めてランチを楽しむ。 ・バイキングで料理を取り分けやすいように、バイキング用のプレートを購入。雰囲気も出て大喜び。
8. 職員会議 ケース会議 給食会議等	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議 毎日実施 ・幼児、乳児会議 各月1回 ・給食会議 月1回 ・ケース(個別)会議 月1回 ・週案検討会 毎週金曜日実施 ・行事担当者打ち合せ会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りに実施
9. 職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士・栄養士・調理員等全ての職員が平等に研修を受ける機会を与える。 ・研修参加者には会議等で研修内容の報告をしてもらい、園全体で知識を共有出来るようにしていく。 ・研修報告書の提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての職員がそれぞれの分野の研修に参加出来た。また、夕方の職員会議にて研修内容の報告も実施。 ・報告書の提出に時間差あり。期日を決めた方が良いか検討したい。
10. 健康診断 災害訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・火災による避難訓練 12回(地震も含む) ・竜巻による避難訓練 2回 ・健康診断 園児内科(4月・9月) 歯科(6月・1月) 職員(5月～6月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべて計画通りに実施。
11. 行事 クラブ活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・別表の年間行事表により実施 ・特徳スポ(エール 大澤宏至氏指導) ・体育教室(吉田雅彦氏指導) ・英会話教室(グリーンランド ルーカス氏) ・茶道教室(大島宗文氏) ・わんぱくクルーズ(地域活動異年齢時交流) 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りに実施。 ・わんぱくクルーズは、担当保育士の負担が大きい事と参加人数のばらつきを考慮して検討したい。
12. 機関紙等	<ul style="list-style-type: none"> ・月刊ひまわり クラスだより発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りに実施
13. 備品 遊具等購入 建物改善	<p>《園庭の環境整備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たぶの木周囲にデッキを設置する 地面から20センチの高さで木目調の痛まない素材で六角形のデッキ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すてきなデッキが完成しました！！ 乳児も幼児も大喜びで活動の場として活用してくれています。
14. その他	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者とのコミュニケーションを積極的にとると共に、こちらの真意がしっかりと伝わるような言葉で話をし、確認し合おう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きなトラブルもなく、保護者との協力体制のもと様々な行事、活動を無事に実施する事が出来ました。